

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党の議員で構成する会派です。

熊谷市
たなみ ひさあき
田並 尚明
1965 (S40) 8.8生
●相談役

生命と生活を守る!!

1 産業労働企業 2 経済・雇用対策
3 少子高齢化社会における地域の活性化
4 B型 5 It's My Life

凡事徹底の精神を忘れず働いてまいります。

川口市
しらね だいすけ
白根 大輔
1979 (S54) 5.13生
●政調会長

DXを活かして
住み続けたい街川口・埼玉を!

1 企画財政 2 公社事業対策
3 交通・教育・危機管理・DX
4 A型 5 チェリー

やります! できます! 届けます!
引き続き、県民目線で活動して参ります。
Be with you.

さいたま市北区
おがわ ひさし
小川 寿士
1964 (S39) 2.21生
●団体局長

子や孫が輝く埼玉県

1 福祉保健医療 2 少子・高齢福祉社会対策
3 社会保障政策
4 AB型 5 やっぱ好きやねん

18歳で漫才師西川きよしに弟子入り。参議院議員となった師匠の秘書となり政治の世界に飛び込む。さいたま市議を3期経験。重ねた経験を活かして参ります。

入間市
せんつ いきょうこ
泉津井 京子
1980 (S55) 10.25生
●副総務会長

舞い上がれ! 女性の声よ!

1 企画財政 2 公社事業対策
3 医療・雇用・子育て支援・高齢者福祉
4 B型 5 喝采

証券会社の営業、客室乗務員を経て、今回入間市初の女性県議として初当選。趣味は極真空手。

さいたま市南区
きむら いさお
木村 勇夫
1967 (S42) 6.20生
●代表

まっすぐ、まじめ

1 県土都市整備 2 人材育成・文化・スポーツ振興
3 雇用・教育・医療・介護
4 O型 5 浅草キッド

うどん県香川県出身。離乳食からうどんで育つ。埼玉を東のうどん県にするべく活動中です。

上尾市・伊奈町
まちだ こうすけ
町田 皇介
1979 (S54) 7.31生
●総務会長/財務局長

「信頼」でつくる、
くらしの安心と地域の未来

1 総務県民生活 2 自然再生・循環社会対策
3 医療・福祉・子育て支援・教育・防災
4 B型 5 なごり雪

28歳で市議に初当選。
市議3期、県議2期。身長188cm。
2児の父として子育て奮闘中。

越谷市
ほそかわ たけし
細川 威
1977 (S52) 7.21生
●副財務局長

埼玉の未来をみんなでつくる!

1 環境農林 2 少子・高齢福祉社会対策
3 持続可能なまちづくりについて
4 B型 5 北酒場(細川たかし)

国会議員秘書、運送業等を経験。越谷市議3期務めた後、県議初当選。小学生、高校生の子育て中!

草加市
こもり かつみ
小森 克己
1975 (S50) 2.22生
●副団体局長

埼玉県の根本からの改革を推進!

1 産業労働企業 2 人材育成・文化・スポーツ振興
3 経済産業・財政・環境・地方分権・教育・医療介護・防災
4 A型 5 LOVE SONG

ドラスティックな構造改革を推進!夢と希望に溢れる、新しい埼玉県を創造します!

所沢市
みずむら あつひろ
水村 篤弘
1974 (S49) 2.7生
●幹事長

徹底した現場主義。改革を進める確かな力!
だれ一人取り残さない

1 文教 2 地方創生・行財政改革
3 物価高対策・感染症対策・災害対策・高齢者福祉・子ども食堂など
4 B型 5 きよしのズンドコ節

フリーターや会社員を経験。26歳の時、政治家になる事を志す。県議会議員4期目。

さいたま市見沼区
たけだ かずひろ
武田 和浩
1961 (S36) 1.24生
●広報局長/副政調会長

仕事キツリ・福祉キツリ・防災がっちり
答えを出します。結果を出します

1 警察危機管理防災 2 危機管理・大規模災害対策
3 防災・減災・危機管理
4 A型 5 これが青春だ

脱兎のごとくスピーディーに、パワーシャベルのごとく力強く多くの声をすくい上げて、飛脚のごとく誠実・丁寧・確実に小さな声を政治に届けるように心掛けております。

さいたま市浦和区
の もと れいこ
野本 怜子
1977 (S52) 9.24生
●副政調会長/副広報局長

いつでも再チャレンジできる社会を

1 福祉保健医療 2 自然再生・循環社会対策
3 労働・経済・子育て支援・防災・医療・孤独孤立
4 B型 5 駅

1男2女の子育て(20・18・16歳)と専業主婦歴11年の経験をもとに、生活者目線で政策をつくります!

●会派役職

1 常任委員会

2 特別委員会

3 関心のある政策テーマ

4 血液型

5 カラオケで歌う曲

埼玉県議会



[発行元] 埼玉民主フォーラム
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL.048-833-1710
FAX.048-833-1722

埼玉民主フォーラム

<https://minshuforum.jp>

埼玉民主 フォーラム 2025 春号



2025年4月に代表が代わりました

代表挨拶



代表
木村 勇夫

現場の声に寄り添い、動く。

県民の皆さまこんにちは。埼玉民主フォーラム代表の木村勇夫です。

私たち埼玉民主フォーラムは、多様な価値観を尊重し、県民一人ひとりが安心して暮らせる埼玉県の実現を目指して日々活動しています。子育てや介護、働き方の悩み、地域経済の不安、そして八潮市の道路陥没事故で明らかになった、道路や橋、上下水道など社会インフラの老朽化など、県政を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。だからこそ、現場の声にしっかりと耳を傾け、対話を重ね、課題

解決に向けた現実的かつ持続可能な政策を提案していくことが、私たちの使命であると考えます。

どんな時も、現場の声に寄り添い、課題に向き合い、未来につながる確かな一歩をともに踏み出す——それが私たちの姿勢です。安心して暮らせる埼玉、希望をもてる埼玉県を、次の世代に引き継いでいけるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、埼玉民主フォーラムの活動にあたたかいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

八潮市内で発生した道路陥没事故とインフラの再構築に向けて

本年1月28日、八潮市内の県道で道路陥没事故が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

埼玉県では、事故直後から被害者救出を最優先に対応し、29日には危機対策会議を開催。その後、災害対策本部を設置し、災害救助法も適用され、応急対策や被災者支援が進められました。埼玉民主フォーラムでは、1月30日に大野知事へ緊急要請を行い、人命救助の徹底、早期復旧、再発防止を強く求めました。

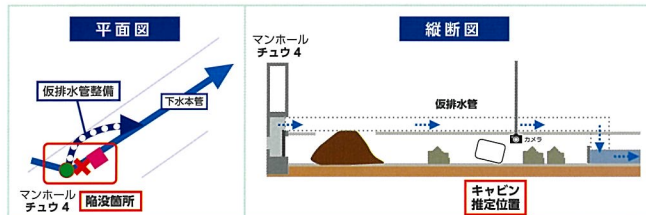
予算特別委員会における民主フォーラム木村議員の総括質疑において、従来型の一極集中型下水処理から小規模処理施設や合併浄化槽の活用といった分散型処理システムへの移行の検討の必要性が提案され、知事からも抜本的な検討が必要で、国に対して提起していきたいとの考えが示されました。

さらに今回の八潮市の陥没事故を契機に、流域下水道に限らず、県内のインフラ老朽化への対応を抜本的に見直す時期に来ていると考えることから、維持管理の在り方や再構築についても知事に質しました。知事からは計画的かつ予防的な措置や点検、診断、措置、記録といったメンテナンスサイクルを着実に実行し、施設の安全性を確保する必要と、第三者委員会の指摘を踏まえて適切な計画を構築する考えが示されました。

2月定例会では掘削作業や仮排水管設備のバイパス工事などに必要な総額90億円の流域下水道事業会計補

正予算が可決され、現在も応急工事が続いています。県は専門家による「原因究明委員会」と「復旧工法検討委員会」を設置し、事故原因の徹底調査と再発防止策の検討を進めています。

私たち埼玉民主フォーラムは、予算特別委員会の総括質疑を通じて、県内インフラ全体のあり方を抜本的に見直す必要性について提言しました。持続可能なインフラの維持管理に向けては、新技術の導入や官民連携、財源確保の工夫が不可欠です。引き続き、県民の皆様の安心・安全な暮らしを支える基盤整備の構築のため、全力で取り組んでまいります。



代表質問 田並 尚明 議員

持続可能な財政運営について

Q: 日本経済は賃上げや設備投資の増加で回復基調にあるが、物価上昇や高齢化、施設老朽化、生産年齢人口の減少が課題である。支出増加と税収減少が懸念される中、必要な事業への選択と集中、積極的な歳入確保が重要。将来を見据えてどのように持続可能な財政運営を行っていくのか？

A: 生産年齢人口の減少に伴う県税収入の減少が懸念される中、歳入確保や事業選択と集中、行財政改革が必要である。歳入ではネーミングライツの導入拡大や返礼品付ふると納税で寄附金を獲得する。歳出ではEBPMを活用し、事業見直しやDX成果を生かして行政効率

化を図っていく。財源調整基金を確保し、持続可能な財政運営を目指していく。

インターネットによる部落差別への対策について

Q: インターネットによる部落差別においては、全国各地の被差別部落を訪れ、地元住民に承諾を得ず個人住宅の表札や自動車のナンバープレート、姓名が入った墓地の墓誌名等の画像を公表するなど、悪質な差別行為がある。本県の条例違反でもあるインターネットの部落差別に関して、どのような対策を講じていくのか？

A: 埼玉県では、被差別部落への差別解消を目指し、正しい理解を促進する啓発活動を実施している。ま



た、インターネット上での人権侵害防止を重点的に取り組み、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」に基づき、同和地区情報の不適切な掲載を把握した場合は速やかに対応している。市町村や関係機関と連携し、差別のない社会づくりを目指して取り組みを進めている。

一般質問



細川 威 議員

- ・視覚障害者が地域で安心して暮らせる施策について
 - ・すべての生徒が快適に使える県立学校のトイレ環境の整備について
 - ・越谷市内の調節池整備と安全対策について
- 他8項目

動画はこちら



予算特別委員会

木村 勇夫 議員 持続可能な下水道インフラについて

Q: 下水道インフラについては、埼玉県では、高度成長期に、流域下水道の整備を進めてインフラ整備が進められてきた。維持管理や更新が課題となっている。今後も持続可能な下水道インフラを維持していくためには、従来型の一極集中型下水処理から、小規模処理施設や合併処理浄化槽の活用といった、分散型処理システムへの移行も今後検討をするべきではないか？

A: 今回の八潮市の事故を踏まえれば、広域的な下水道システムである流域下水道、下水道のリスク管理や在り方について、抜本的に検討していく必要があると考えており、合併処理浄化槽を含めた検討について、国に対しても提起していきたいと思っている。



白根 大輔 議員 あと数マイル・プロジェクト 地下鉄7号線SR岩槻まで延伸へ

Q: 国土交通省に大野知事と清水市長が出向き、「需要創出」という言葉ももらったとのことだが、中間駅のまちづくりが重要。中間駅のまちづくりを埼玉県としてはどのように後押しをするのか。

A: 中間駅のまちづくりは、需要創出の一番大きなポイントになると認識している。県としても今年度、不動産事業者等へのヒアリング調査を行った。中間駅の場所は非常にポテンシャルが高いということで、商業関係者、デベロッパーからも好感触を得た。来年度はさいたま市で中間駅のまちづくり方針有識者会議を開き、方針を作り具体化を図ると聞いている。県としても引き続きさいたま市に協力していく。



武田 和浩 議員 県の防災（在宅避難のリスクの周知について）

Q: 埼玉県では在宅避難を推奨しているのか？ 1回目の地震では倒壊しなかったが、2回目連続して襲ってきた地震で倒壊した建物が多かった。新耐震基準の木造住宅の基準は1回の震度7の揺れに耐えるだけの作りである。直後から在宅で避難し続けるのは近年の余震が続く地震では、命の危険の恐れがある避難方法である。そこで在宅避難の留意点や注意点の啓発が極めて重要。地域防災計画にこの点を盛り込み、ホームページ等での啓発により、県民の命と安全を守るべきと考える。

A: 在宅避難は推奨していない。過去の災害、能登半島地震も複数回での地震により倒壊した。ホームページや、防災学習センター、防災講座や、在宅避難のリスク教訓を伝えていきたいと思っている。



野本 怜子 議員 医師確保について

Q: 順天堂大学病院誘致の計画が白紙になり、今後、医師確保をどうすすめるのかは喫緊の課題である。大学病院等から医師派遣を行ってもらふ寄附講座の設定を拡充するとのことだが、令和6年度も6名の枠で設定されているものの、実際には4名の派遣に留まっている。7年度は11名と、さらに拡充された予算計上をしているが、どのように成果をだすのか。

A: 県では医師を派遣してもらえそうな大学に直接出向き声掛けをしているが、特定地域の公的医療機関が派遣してほしい診療科と、その時点での医師側のタイミングが合わないという問題もある。様々な人脈も活用し、予算案議決後速やかに全力で取り組んでいく。





【発行元】埼玉民主フォーラム
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL.048-833-1710
FAX.048-833-1722

埼玉民主フォーラム



<https://minshuforum.net>

埼玉民主 フォーラム

2025

夏号



【八潮市道路陥没事故調査等特別委員会】が本格始動

県民の安全確保と補償制度について議論が進む

1月28日未明、八潮市中央一丁目交差点で発生した道路陥没事故は、流域下水道の老朽化による管路破損が主因と見られ、インフラ整備の重要性とともにそのあり方を抜本的に見直し、将来を見据えた持続可能な維持管理体制の構築が急務であることを再認識させるものとなりました。

この事故を受けて埼玉県議会では6月定例会にて「八潮市道路陥没事故調査等特別委員会」を設置し、事故原因の究明と再発防止策、さらには被害住民・事業者への対応について議論が進められました。当会派からは町田委員・細川委員が質問に立ちました。

町田委員Q「補償業務の専門性を含めた職員体制と、今後の体制については？」

県A「現在は応援職員10名体制。条例改正後は12名が正式配属予定している。専門性や経験のある職員を配置しており、今後業務が増加すれば追加配置を検討する」

細川委員Q「県民に要請した下水の使用制限の経緯と



効果は？」

県A「事故によって汚水があふれる恐れがあったため、流入量を減らす目的で制限を実施。報道等で住民に周知した。また、他の対策も同時に行っていたため、効果は定量的に示せないが、一定の効果は確認されている」

議論を受け、特別委員会で二つの意見書と一つの決議文が採択され、本会議で可決されました。「下水道の強靱化予算の確保を求める意見書」と「社会資本施設に起因する事故等発生時における補償制度の構築を求める意見書」に加えて「道路陥没事故に係る住民・事業者への速やかな補償を求める決議」です。

国・県・市町村が一体となり下水道を含む社会インフラの見直しと、住民の安心・安全の確保を目指し、埼玉民主フォーラムは政策提言と対応を続けてまいります。

一般質問

6月定例会

小川寿士 議員

- ・医療的ケア児の給食支援
 - ・障害者計画相談支援について
- 他 3 項目



動画はこちら



6月定例会

野本怜子 議員

- ・県庁舎再整備について
 - ・総合診療医を増やす取り組みを
- 他 6 項目



動画はこちら



会派視察

5月上旬、埼玉民主フォーラムでは、2日間の会派視察を行いました。

初日は、「更生支援の取組」について奈良県庁を訪問しました。奈良県では、令和2年に「奈良県更生支援の推進に関する条例」を施行。刑務所出所者等が地域の一員として日常生活を送ることを目的に、「一般財団法人かがやきホーム」を設立するなど、就労支援や住居提供など様々な取り組みを推進していました。奈良県の先進事例は、埼玉県の更生支援について参考にすべき点が多くありました。

第2日目は、「精神障害者家族支援」について京都府庁を訪問。京都府では、メリデン版訪問家族支援の手法を用いた精神障害者の家族支援を実施し、精神障害のある

人とその家族が、自ら困難を切り抜けられるよう問題を解決する手法を取得するための支援を行っています。

埼玉県においても、精神障害患者や家族の支援策の拡充は極めて重要な施策であり京都府の取り組みは大いに参考となるものでした。



上段：会派役職 下段：常任委員会

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党の議員で構成する会派です。



相談役
産業労働企業委員会
た な み ひ さ あ き
田並 尚明
(熊谷市)



代 表
県土都市整備委員会
き む ら い さ お
木村 勇夫
(さいたま市南区)



幹事長
文教委員会
み ず む ら あ つ ひ ろ
水村 篤弘
(所沢市)



政調会長
企画財政委員会
し ら ね だ い す け
白根 大輔
(川口市)



総務会長／財務局長
総務県民生活委員会
ま ち だ こ う す け
町田 皇介
(上尾市・伊奈町)



広報局長／副政調会長
警察危機管理防災委員会
た け だ か ず ひ ろ
武田 和浩
(さいたま市見沼区)



団体局長
福祉保健医療委員会
お が わ ひ さ し
小川 寿士
(さいたま市北区)



副財務局長
環境農林委員会
ほ そ か わ た け し
細川 威
(越谷市)



副政調会長／副広報局長
福祉保健医療委員会
の も と れ い こ
野本 怜子
(さいたま市浦和区)



副総務会長
企画財政委員会
せ ん つ い き ょ う こ
泉津井 京子
(入間市)



副団体局長
産業労働企業委員会
こ も り か つ み
小森 克己
(草加市)



【発行元】埼玉民主フォーラム
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL.048-833-1710
FAX.048-833-1722

埼玉民主フォーラム



<https://minshuforum.net>

埼玉民主 フォーラム

2025 秋号

会派の要望を大野知事に直接手渡しました



埼玉民主フォーラムでは、8常任委員会からの178項目並びに、各種団体・自治体からの要望「令和8年度埼玉県に対する予算並びに施策に関する要望書」を9月定例議会最終日の10月15日、大野知事に提出をしました。

新たな要望として、公共交通機関への人材不足対策と燃料費高騰対策、また物価高対策並びに人口減少を踏まえた持続可能となるインフラ整備計画の見直し、総合診療医制度の推進や公契約条例の早期の制定を加えました。

要望の一部概要

- 交通政策の総合的計画の推進並びに公共交通機関の安定運営への支援
- 障害者手帳のない難病患者の県職員採用の推進
- 休耕地の利活用
- 放課後児童クラブ及び朝の居場所づくりに対する施策の充実
- 子ども達を虐待から守る体制整備の強化
- 障害者・障害児に対する計画相談支援体制の構築
- 介護人材の確保と処遇改善
- 医師不足、看護師不足の解消

- 価格転嫁およびエネルギー価格高騰への対応
- 柔軟な物価高騰対策
- 老朽化する社会インフラ対策の抜本的強化
- 不登校対策
- 特別支援学校の過密解消及び教育環境整備
- 医療的ケア児に対する教育現場の改善
- 避難所における感染症対策

etc.....

詳しくは会派のホームページをご参照いただければ幸いです。今後とも県民生活の向上と安心安全、利便性発展に尽くしてまいります。

一般質問

9月定例会

白根 大輔 議員

- ・八潮市道路陥没事故を踏まえた
流域下水道の在り方と今後の方向性について
- ・公契約条例の契約について

他 7 項目



動画はこちら

9月定例会

泉津井 京子 議員

- ・朝の小1の壁を解消するために
- ・医師確保対策について

他 7 項目



動画はこちら

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会 報告

10月9日、八潮市道路陥没事故調査等特別委員会が開かれ、原因究明委員会の中間取りまとめや復旧工事の進捗、補償の実施状況などについて県から報告がありました。委員会では、住民アンケートでストレスや不眠、頭痛などの健康被害を訴える声が多数寄せられていることを踏まえ、健康影響への対応や、事故被害に対する補償、今後の財政措置などについて活発な議論が行われました。

私たちの会派の細川威委員からは、健康被害の有無を確認するため、県として長期的な健康観察を実施する必要性を強く指摘し、個別対応にとどまらず、住民の安心につながる継続的な調査と支援を求めました。また、

町田皇介委員からは、復旧工法検討委員会で示された複線化ルートの検討状況や概算費用について質問しましたが、下流部のルート、費用見込みは検討中ということで現状では明らかになりませんでした。その他、原因究明委員会の中間取りまとめに記載のない「事故原因と責任の所在の明確化」も求めたところです。

委員会としては、住民・事業者へのきめ細かな支援を求める決議や、国に財政措置を求める意見書など4件を全会一致で可決しました。民主フォーラムとして、今後も県が真に住民に寄り添った対応を行うよう注視し、必要な改善を求めてまいります。

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党の議員で構成する会派です。

上段：会派役職 下段：常任委員会



相談役
産業労働企業委員会
た な み ひろあき
田並 尚明
(熊谷市)



代 表
県土都市整備委員会
き む ら いさお
木村 勇夫
(さいたま市南区)



幹事長
文教委員会
み ず む ら あつひろ
水村 篤弘
(所沢市)



政調会長
企画財政委員会
し ら ね だいすけ
白根 大輔
(川口市)



総務会長／財務局長
総務県民生活委員会
ま ち だ こうすけ
町田 皇介
(上尾市・伊奈町)



広報局長／副政調会長
警察危機管理防災委員会
た け だ かずひろ
武田 和浩
(さいたま市見沼区)



団体局長
福祉保健医療委員会
お が わ ひさし
小川 寿士
(さいたま市北区)



副財務局長
環境農林委員会
ほ そ か わ たけし
細川 威
(越谷市)



副政調会長／副広報局長
福祉保健医療委員会
の も と れいこ
野本 怜子
(さいたま市浦和区)



副総務会長
企画財政委員会
い ず み 京子
泉津井 京子
(入間市)



副団体局長
産業労働企業委員会
こ も り か つ み
小森 克己
(草加市)



【発行元】埼玉民主フォーラム
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL.048-833-1710
FAX.048-833-1722

埼玉民主フォーラム

<https://minshuforum.jp>

埼玉民主 フォーラム

2026

新春
号

謹んで新年のお慶びを申し上げます



昨年は、県民の皆さまお一人おひとりのご協力により、本県が着実な歩みを進めることができましたことに心より感謝申し上げます。新しい年を迎え、私たち民主フォーラムは更なる成長と発展を目指し、未来に向けて力強く歩みを進めてまいります。教育・福祉・産業・経済・防災等の充実をはじめ、安心して暮らせる地域づくりに全力を尽くし、一丸となって実現へ邁進して参ります。

埼玉県議会は、昨年12月1日から19日にかけて定例会が開催されました。八潮市道路陥没事故に関し、下水道

管の破損及び道路の復旧工事費等に83億9100万円の補正予算、また、個人事業主やボランティアなどを含めて幅広くハラスメントから働く人を守る埼玉県カスタマーハラスメント条例の制定など合計71議案 に対し会派として賛成・可決しました。

さらに、国の総合経済対策を受けて、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援としてガス等の光熱費補助、また、医療・福祉分野等の職員の処遇改善、クマ対策等で総額約750億円の補正予算を可決しました。

一般質問

12月定例会

町田皇介 議員

- ・児童自立支援施設「埼玉学園」の機能強化と将来像について
- ・県民活動センターを廃止すべきという有識者会議の検討結果について



動画はこちら

12月定例会

田並尚明 議員

- ・産後うつ対策と産後ケア事業の認知度向上について
- ・ネットによるいじめや差別的書き込みの防止について



動画はこちら

決算特別委員会

令和6年度決算に対する審査を行う決算特別委員会は部局ごとに行われ、質疑は10月24日から11月7日まで続き、12月定例会にて賛成多数で認定されました。

令和6年度は歳入総額2兆2,842億円、歳出総額2兆2,333億円で474億円の黒字を確保しています。法人住民税、法人事業税（法人2税）が好調で県税収入も過去最高となりましたが、教育費や民生費負担が増加。財政構

造の弾力性を判断する指標の一つである経常収支比率は94.7%と自由に使える財源比率は高いとは言えません。県の借金である県債約3兆6,237億円のうち、国からの補填（交付税措置）がない県の実質的な借金は約1兆6,000億円と推計されています。今後、八潮市道路陥没事故に象徴されるようなインフラの再整備、安心安全な医療・福祉体制の維持には費用負担が不可避です。国からの補助金も要望しながら、今後も適切な県政運営をチェックして参ります。



小川委員

Q.

県立特別支援学校の教室不足について、令和6年度の対応は、簡易な整備により一つの教室を二つにするなど、極めて厳しい教育環境が存在している。こうした事態を解消し、児童生徒や教職員の教育環境の改善に努める必要があるのではないか？

教育局 特別支援教育課長

A.

令和6年度は、7年度に不足する44教室をパーテーションで間仕切るなどして増設した。教室不足という厳しい状況は、何とか改善をしないといけないという思いは一緒である。令和7年度は新校の開校2校など進めている。更なる対策については、今後の児童生徒数の推移などを見ながら一つ一つ考えていきたい。



野本委員

Q.

介護人材確保促進事業におけるパソナライフケアへの委託について伺う。パソナライフケアに約1億円払って採用人数は106人という実績はいかがなものか。予算調書では成果指標は500人となっている。また、令和7年度も約1億円の委託料を払っているが、令和6年度の成果に基づく委託費用の在り方について検討したのか？

福祉部 高齢福祉課長

A.

令和6年度は委託会社の変更に伴い「SAITAMA KAIGO NEXT」というポータルサイトを全面リニューアルした作業が年度前半に生じ、掲載情報の拡充にも時間を要した。目標達成には約1億円の予算が必要だと考えているが、介護人材確保は厳しい情勢なので、正職員の負担を減らすため「介護助手」と呼ばれる周辺業務を担う方を積極的に確保していくなど改善する余地もあると考えている。

所属議員

埼玉民主フォーラムは、立憲民主党の議員で構成する会派です。

上段：会派役職 下段：常任委員会



相談役
産業労働企業委員会
た な み ひ さ あ き
田並 尚明
(熊谷市)



代 表
県土都市整備委員会
き む ら い さ お
木村 勇夫
(さいたま市南区)



幹事長
文教委員会
み ず む ら あ つ ひ ろ
水村 篤弘
(所沢市)



政調会長
企画財政委員会
し ら ね だ い す け
白根 大輔
(川口市)



総務会長／財務局長
総務県民生活委員会
ま ち だ こ う す け
町田 皇介
(上尾市・伊奈町)



広報局長／副政調会長
警察危機管理防災委員会
た け だ か ず ひ ろ
武田 和浩
(さいたま市見沼区)



団体局長
福祉保健医療委員会
お が わ ひ さ し
小川 寿士
(さいたま市北区)



副財務局長
環境農林委員会
ほ そ か わ た け し
細川 威
(越谷市)



副政調会長／副広報局長
福祉保健医療委員会
の も と れ い こ
野本 怜子
(さいたま市浦和区)



副総務会長
企画財政委員会
せ ん つ い き ょ う こ
泉津井 京子
(入間市)



副団体局長
産業労働企業委員会
こ も り か つ み
小森 克己
(草加市)